



## 子どもからもらうもの

私がシンガポール日本語補習授業校に着任して約2か月が経ちました。やっとシンガポールの気候にも慣れてきたように感じます。

さて、私は補習校の授業は必ず各教室、及び校内を巡回することになっています。目的は次の3つです。

1. 子どもの様子を見るため
2. 担任、副担任、教室ボランティアの指導の様子を見るため
3. 学校内の環境（安全か・安心か）を確認するため

しかし、実はもう一つの目的があります。それは、私自身が子どもたちから「元気」や「勇気」などエネルギーをもらうためです。

子どもはエネルギーの塊です。それは教室の出入り口に近づいた瞬間から感じることができます。この感覚を説明することはなかなか難しいのですが、あえて例えるならそれは「電気」のようなものと言えるのかもしれませんが。特に低学年は新品の乾電池を入れて自走しているおもちゃの車のように「元気」にあふれています。教室に入った瞬間、私を見て「ニコッ」と笑顔で返されると、かなり古い表現になりますが「ビビビ」と感電したような感覚に襲われます。

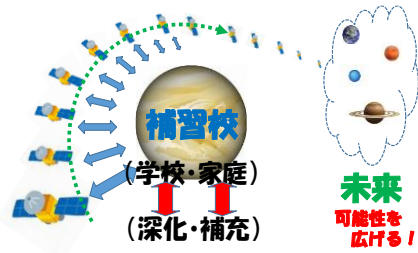
また、真剣な眼差しで、一生懸命に問題を解こうとしている子どもたちの姿からは、新しい課題にチャレンジしようとする「勇気」のエネルギーをもらうことができます。

このように学校はものすごいエネルギーで溢れています。世界では「EV（電気自動車）」が話題になることが多いですが、ひょっとすると私は学校で子ども達のエネルギーから「充電」させてもらっているのかもしれません。見方を変えると、ひょっとしたら学校は地域を動かす大切なインフラ（エネルギー供給施設）と言えるのかもしれません。実際に未来で社会を動かすのは今の子ども達です。そのためにシンガポール日本語補習校の使命である「こどもの未来の可能性を広げる学校」を創造していきたいです。

これからも少々の感電に我慢しながら教室を回ります。



# 「未来の可能性を広げる」について



「可能性」とは「選択肢」の数と考えます。英語、中国語、日本語・・・ただし、単に言葉が多数使えるだけでは「広げる」ことにはなりません。いろいろな言語で「思考し、判断し、表現する」ことで初めて「可能性を広げる」ことにつながると考えます。

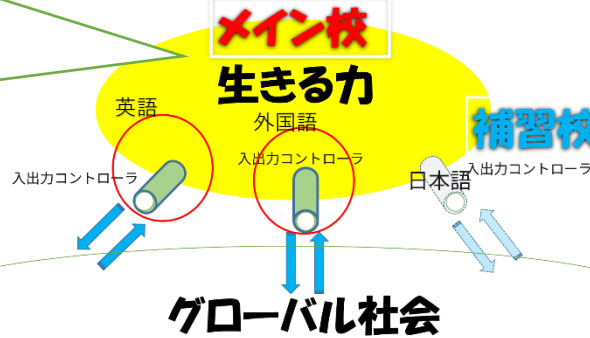
## 補習校

メイン校で育成された「生きる力」を日本語に変換して発信することができる、または補習校で学んだ国語科の学習、または日本の文化や習慣を日本語で脳に入力できる「コントローラー」的な能力を育てます。

## メイン校

総合的に子どもが獲得しなければならない「生きる力」は、主に「メイン校」で育成してもらいます。

## 未来の可能性を広げるとは？



# 「地球ラジオ」の朗読放送について

本校5年生のO・Sさんの作文がNHKの「地球ラジオ」で紹介されることになりました。

番組名： 『ちきゅうラジオ』 <http://www4.nhk.or.jp/gr/>  
 コーナー名： 「ちきゅうキッズだより」  
 放送日時： 6月7日(日) 18:05～18:50 (日本時間)  
 放送メディア： ラジオ国際放送NHKワールド・ラジオ日本 (世界各地)  
[https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/live\\_radio/](https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/ja/live_radio/)  
 聞き逃し配信： 1週間聴取可能



様々な作品を応募して「日本語が使えてうれ(C)」と子ども達を感じてくれれば私も「うれ(C)」です。

